

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
3月16日号

Vol.348



世界経済見通しから見る注目のセクターは？

● OECD 世界経済見通し

経済開発協力機構(OECD)は3月7日世界経済見通しを発表しました。2017年の世界全体の成長率は3.3%と16年の3%から上昇し、18年はさらに加速し3.6%へ上昇すると見込んでいます。

米国や中国の財政政策が下支えすることなどが主な背景にあります。OECDの世界経済見通しは2016年～18年にかけて成長率は毎年改善することが予想されています。

● 主な個別国に注目すると…

主な個別国の米国、中国に注目するとOECDは両国の2017年成長率見通しを引き上げています。

米国は堅調な個人消費やエネルギー生産の回復と共に財政政策が経済成長の下支えとなると考えられます。トランプ氏は今後10年間で1兆ドル(110兆円)規模のインフラ投資の計画を打ち出しており、トランプ氏の財政拡大政策が米国の経済成長を加速し、結果として世界経済の成長にもつながると考えられます。

中国でも、鉄道、高速道路などのインフラ投資の財政政策拡大が中国経済の景気を支えていくものと思われます。2017年についても既に中国交通運輸省からは幹線道路や水路プロジェクトに1兆8000億元(約30兆円)を投じるとの発表も行われています。

● 注目のセクターは？

世界経済の回復期待が後押しするなか、注目したい資産は…

米国の景気回復期待に加え、米ドル高基調は足元で一服感が見られ、新興国からの資金流出懸念の後退につながっています。米国経済回復の恩恵は新興国経済、企業業績にも及ぶと期待されます。**中国のインフラ投資拡大で資源価格上昇、資源が豊富な新興国にも好影響が期待できるかもしれません。**

またトランプ大統領が掲げているインフラ投資拡大は、公益、パイプライン、運輸等の各セクターの成長も牽引すると考えられます。

■図表1: OECDの主な国の経済成長率予想

(時点: 2017年3月現在予想、予想はOECDによる)



出所: OECDのデータを使用してピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。